



平成15年度活動報告集

平成16年4月

## ご挨拶

東海構造研究グループ（略称 SGST）は、土木構造に関するあらゆる領域について研究する団体として、構造に関係する約10の大学等の教育機関と約30社の法人会員（官公署、企業）、および構造に関する業務あるいは、研究に携わる約130人の個人会員とから構成されています。

このグループによる研究会は、昭和53年に名古屋大学名誉教授の福本嘯士先生が創設され、以後、組織改革が行われ、平成元年4月から新しい組織規約が作成され今日に至っています。

これまでに種々の研究成果があります。また、立場を異にする会員間の相互理解や親睦を深めるのにも大きな役割を果たしています。隔月で開催される定期研究会で、その報告が行われます。この定期研究会は、立場を異にする者の間での情報交換の場となっています。また、重要度の高いテーマについては、研究委員会による重点的な研究、討議が行われています。

本年度の特出すべきものは、前代表の宇佐美 勉、塩見弘幸先生らが中心になって、SGST 創設25周年記念事業を6月に開催したことです。多くの方々の参加を得ました。ここに深く感謝申し上げます。次に、今まで行われていない、現場見学会を計画し、1日ばかりで架設中の3橋を SGST 会員、および学生ともども見学したことです。最後に、2001年から始まっている土木学会の継続教育制度を活用し、隔月行われている定期研究テーマをCPDプログラムとして申請を行っていることです。申請した計画はすべて受理されています。

今後、この研究グループの役割は、社会とこれまで以上に深くかかわり、社会の選択に委ねられる部分も多くなることが予想されます。研究成果の内容も一般の人々に正確な関心を持っていただくため、SGST のホームページの改変と充実を行い、21世紀の新しい街づくりに貢献していく所存です。

最後になりましたが、平成15年度 SGST 活動資料集の発行に際し、幹事の皆様にはこの場をかりて厚くお礼申し上げます。

平成15年度 SGST 代表 大同工業大学

事口壽男

# 東海構造研究グループ

Study Group of Structures in Tokai

2004年3月

## 東海構造研究グループとは

東海構造研究グループ（略称 S G S T）は、土木構造に関するあらゆる領域について研究する団体として、構造に関する諸団体（官公署、企業）および構造に関する業務あるいは研究に携わる個人とから構成されています。

このグループによる研究会は昭和53年に創設され、以後、組織改革が行われ、平成元年4月から新しい組織規約が作成され今日に至っています。これまでに種々の研究結果を挙げており、また、立場を異にする会員間の相互理解や親睦を深めるのにも大きな役割を果たしています。

## 沿革

- 昭和53年 4月 東海鋼構造研究グループ創設。代表 福本 昉士  
主として鋼構造部材の抵抗強度の信頼性評価が研究されました。
- 昭和59年 8月 東海構造研究グループと改称し、構造全般を扱うようにし、官公庁、企業、教育機関から多くの新規の会員入会がありました。
- 昭和61年11月 代表 長谷部 宣男
- 平成 元年 4月 組織規約が作成され、活動範囲を広げました。
- 平成 3年 4月 代表 宇佐美 勉
- 平成 7年 4月 代表 梶川 康男
- 平成 9年 4月 代表 山田 健太郎
- 平成13年 4月 代表 塩見 弘幸
- 平成15年 4月 代表 事口 寿男

## 平成14年度 東海構造研究グループ代表および事務局

代表 事口 寿男 〒457-0818 名古屋市南区白水町40  
大同工業大学 工学部都市環境デザイン学科  
TEL 052-612-5571  
FAX 052-612-5953  
E-Mail [koto0422@daido-it.ac.jp](mailto:koto0422@daido-it.ac.jp)

事務局 安藤 浩吉 〒465-0086 名古屋市名東区代万町2-74  
(幹事長) 瀧上工業株式会社 (OB)  
TEL 052-701-4297  
FAX 052-701-4297  
E-Mail [koknet@mt.j.biglobe.ne.jp](mailto:koknet@mt.j.biglobe.ne.jp)

中川 賢治 〒454-8517 名古屋市中川区清川町2-1  
(幹事) 瀧上工業株式会社 生産本部 技術部 設計課  
TEL 052-351-2214  
FAX 052-361-5468  
E-Mail [sgst-tk@takigami-grp.jp](mailto:sgst-tk@takigami-grp.jp)

## ■会の運営

会の運営は主として会員の納める会費があてられています。会費は会員の区分に応じて次のように決められています。

正会員	年額	2,000 円
賛助会員	年額	1,000 円
特別会員		
第1種	年額	30,000 円 研究委員会分担経費：70,000 円
第2種	免除	
名誉会員	免除	

特別会員の第1種と第2種については、研究会などへの行事参加への区別は全くありません。特別な事情により会費納入が無理な団体に対して、第2種は設けられていますが、現在はできるだけ第1種へ入会していただくようお願いしています。

## ■東海構造研究グループの活動

### 研究調査

研究会活動の中心となるもので、構造に関する種々の分野について、研究および調査を行います。隔月で開催される定期研究会で、その報告が行われます。この定期研究会は、立場を異にする者の間での情報交換の場となっています。また、重要度の高いテーマについては、研究委員会による重点的な研究、討論が行われています。本年度より、定期研究会は(社)土木学会継続教育プログラム(CPD)の認定を受けております。

### 拡大研究会

隔年で1回、中部地区だけでなく全国から論文を集め、1日がかりの研究会を開催しています。

第1回 平成3年11月 11編の論文

第2回 平成5年12月 12編の論文

「骨組構造物の座屈設計に関するフォーラム」も実施

### 現場見学会

会員全体が参加する行事として、不定期に開催されています。本年度は中部縦貫自動車道の架設現場を巡る見学会を行いました。

### 構造物研究および指導の委託

構造物に関する研究の委託および指導を受け入れています。委託の内容によっては委員会を作り、検討を行っています。

### 出版

本会の成果として、「鋼構造部材の抵抗強度の評価と信頼設計への適用」(1980)および「骨組構造物の座屈設計に関するフォーラム」(1994)を「橋梁と基礎」にそれぞれ2回に分けて発表しています。また、研究会での資料をまとめて「活動報告資料集」を毎年発刊しています。さらに、拡大研究会における成果として「SGST拡大研究会論文集」を隔年で発刊しています。

### 講演会、講習会

構造に関する講演会および講習会の主催または協賛を行っています。

協賛例：平成2年度 土木学会中部支部技術講座「構造物の設計にかかわる最近の話題」

平成4年度 土木学会中部支部技術講座「構造物設計における最近の話題

—景観設計とライフライン構造物の設計および管理—

平成6年度 土木学会中部支部技術講座「土木構造物の維持・管理・耐久性」

平成7年度 土木学会中部支部技術講座「阪神大震災から得た教訓と今後の耐震設計

—橋梁構造物—

## 組織と運営

### ■会員

東海構造研究グループは、以下に示す会員によって構成されています。会員には正会員、賛助会員、特別会員および名誉会員の4種があります。

会員区分	資 格
正 会 員	本会の各種事業の主体となって活動する次の各号に該当する者 (1) 構造物に関する業務に従事する者 (2) 構造物に関する学職経験者 (3) 前号に準ずる者
賛助会員	正会員の研究活動に参加しまたは支援する正会員の経験者およびこれに準ずる者
特別会員	本会の目的および事業に賛同し、本会を援助する会社および団体、特別会員は第1種と第2種に分かれ、第2種の会員は会費納入の義務を負わない。
名誉会員	本会および構造物に関する功績が特に顕著であって、本会の総会において推挙された者

### ■総会および全体研究会

重要な議決事項は総会で審議されます。総会は年1回開かれることになっています。全体研究会は、隔月で開催されています。

### ■役員その他

本研究グループでは代表、幹事長、幹事および会計幹事の役員をおき、会の運営にあたっています。現在の役員は次の通りです。

代表	事口 寿男	大同工業大学 工学部都市環境デザイン学科
幹事長	安藤 浩吉	瀧上工業株式会社
事務局担当	中川 賢治	瀧上工業株式会社 生産本部 技術部 設計課
会計担当	加藤 正幸	瀧上工業株式会社 生産本部 技術部 設計課
会計監査	杉浦 茂浩	JIPテクノサイエンス 名古屋支店
議事録担当	山田 聡	トピー工業 技術統括部 技術研究所
	亀子 学	瀧上工業株式会社 生産本部 技術部 設計課
企画担当	田中 信治	中部復建株式会社 設計第一部
	牧野 敏行	玉野総合コンサルタント株式会社 設計第一部橋梁課
研究会担当	海老沢 健正	名古屋工業大学 工学部 社会開発工学科
	小塩 達也	名古屋大学 大学院 工学研究課
	清水 茂	信州大学 工学部 社会開発工学科
	忠 和男	豊田工業高等専門学校 環境都市工学科
	深田 宰史	金沢大学工学部土木建設工学科
	水澤 富作	大同工業大学 工学部都市環境デザイン学科
HP 担当	岡本 利郎	パンフィックコンサルタンツ中部本社 第一技術部